

37 夏のおそびの前に 洗濯物人形

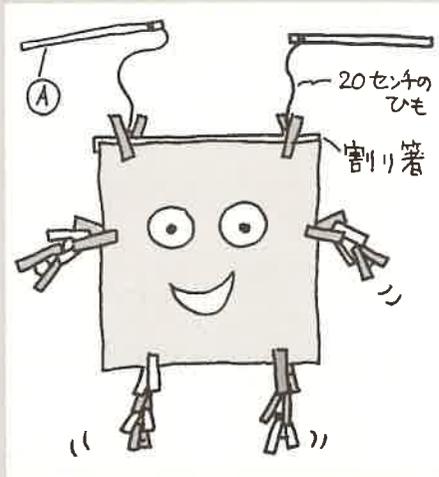
洗濯バサミを使って、即興であやつり人形を作りましょう。ハンカチが、まるで生きているように動き出す姿は子どもたちに大ウケ。机の上などで踊らせれば、洗濯バサミの足がカタカタとタップを踏みます。

準備 ハンカチ、洗濯バサミ、割り箸、ひも、丸シールなど

- 1 20センチほどのひもを用意。一方の先を割り箸に、もう一方のひもの先を洗濯バサミに結びつけます。これを2個作っておきましょう(A)。ハンカチには、あらかじめ丸シールなどで顔をつけておくとスムーズ。

※以下は、子どもたちの前で仕上げます。

- 2 ハンカチの上辺に割り箸を当て、Aの洗濯バサミで2カ所をはさみます。手足に見立てた洗濯バサミを1個ずつハンカチに留め、それぞれ2、3個ほどつなげます。



「パッチン、パッチン！
これは、何に
使うものだったけ？」

まずは、子どもたちに洗濯バサミを見せます。



ハンカチを
吊るして動かす

小人数〜クラス単位

日常保育の合い間や、夏のお誕生会の前に使えます。
生活指導のきっかけ作りに利用してもいいですね。

「じゃあ、先生のハンカチもお洗濯するね。
パッチン、パッチン」

準備しておいたハンカチに割り箸を当て、ひものついた洗濯バサミではさみます。
ハンカチにつけた顔が、子どもたちから見えないように注意。



「パッチン、パッチン。
ここにも、ここにもつけていくと……。
さて、どうなるかな？」

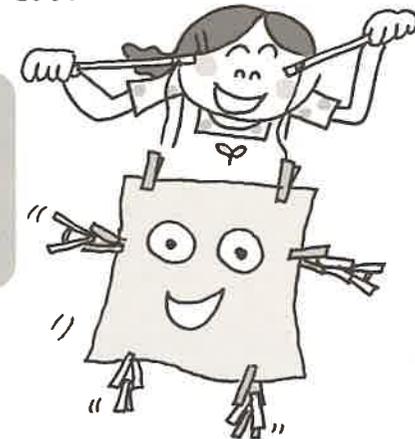
吊るしたハンカチを見せながら、手や足を1個ずつつけていきます。



「タランランラン！
あらら、ハンカチが
踊りだしたよ」



ハンカチを前後に返して顔を見せ、洗濯物人形を操作します。



ワンポイントアドバイス

子どもたちにハンカチを借りて、その場で人形に仕立てても楽しいでしょう。「手を洗おう」という生活指導のきっかけ作りに、ハンカチ人形を使ってちょっとしたシアターを見せるのもアイデアです。